

授業科目名： 環境法	教員の免許状取得のための その他（事務局にて記載）	単位数： 2単位	担当教員名： 高橋満彦 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校社会及び高等学校公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項「法律学、政治学」		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 環境保全のために存在する法の概要を知り、いかなる役割を果たしているかを知る。			
授業の概要 環境は広い分野にまたがるが、主要な分野における個別法の概要を学んだ後、環境法の理念を知る。			
授業計画 第1回：環境法とは 第2回：環境問題の歴史—公害問題の教訓 第3回：環境法の目標と基本的な考え方（1）持続可能な発展、環境権 第4回：環境法の目標と基本的な考え方（2）汚染者負担原則、予防原則 第5回：環境法の基本的メカニズム 第6回：都市景観管理 第7回：自然環境管理（1）自然公園 第8回：自然環境管理（2）野生生物、生物多様性第9回：水資源管理 第9回：水資源管理 第10回：廃棄物の管理と適正処理 第11回：環境アセスメント第12回：環境法の執行 第13回：国際環境問題 第14回：環境問題の解決と訴訟 第15回：総括と振り返り 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリングでは、第1回、第3～5回、第8回、第12回等を取り上げる。			
テキスト 北村喜宣（2019）『環境法（第2版）』有斐閣ストウディア、978-4-641-15063-8			
参考書・参考資料等 交告尚史ほか（2020）『環境法入門（第4版）』有斐閣アルマ、978-4-641-22162-8			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			